

県立鳥取西高等学校整備事業7工区現場見学会次第

日時：平成28年11月1日（火）午前10時40分から

場所：県立鳥取西高等学校整備事業工事現場

見学者：県立鳥取工業高等学校建設工学科1年生(35名)
教諭(2名), 鳥取県建設業協会事務局(2名)

発注者：鳥取県

設計・監理：浦辺・アーキテック設計共同企業体

建築工事(7工区)：大和建设株式会社

電気設備工事(6,7,8工区)：山口・イナバ特定建設工事共同企業体

空調設備工事(6,7,8工区)：大和設備・北陽特定建設工事共同企業体

衛生設備工事(6,7,8工区)：日新工業有限会社

《 次 第 》

(於 西高仮設校舎食堂)

1 挨拶・各説明者自己紹介 10:40～10:45

2 現場見学に際しての注意事項

○ヘルメットは必ず着用してください。

○建物内部は足場が組まれており作業中で危険なので立ち入らないでください。

○釘とか危険な突起物があることもあるので、触ったりしないように注意してください。

3 工事概要説明 10:45～11:00

(7工区現場へ移動 2班に班分け)

4 現場説明 11:10～11:30

(仮設校舎食堂前広場に移動し解散) 11:40

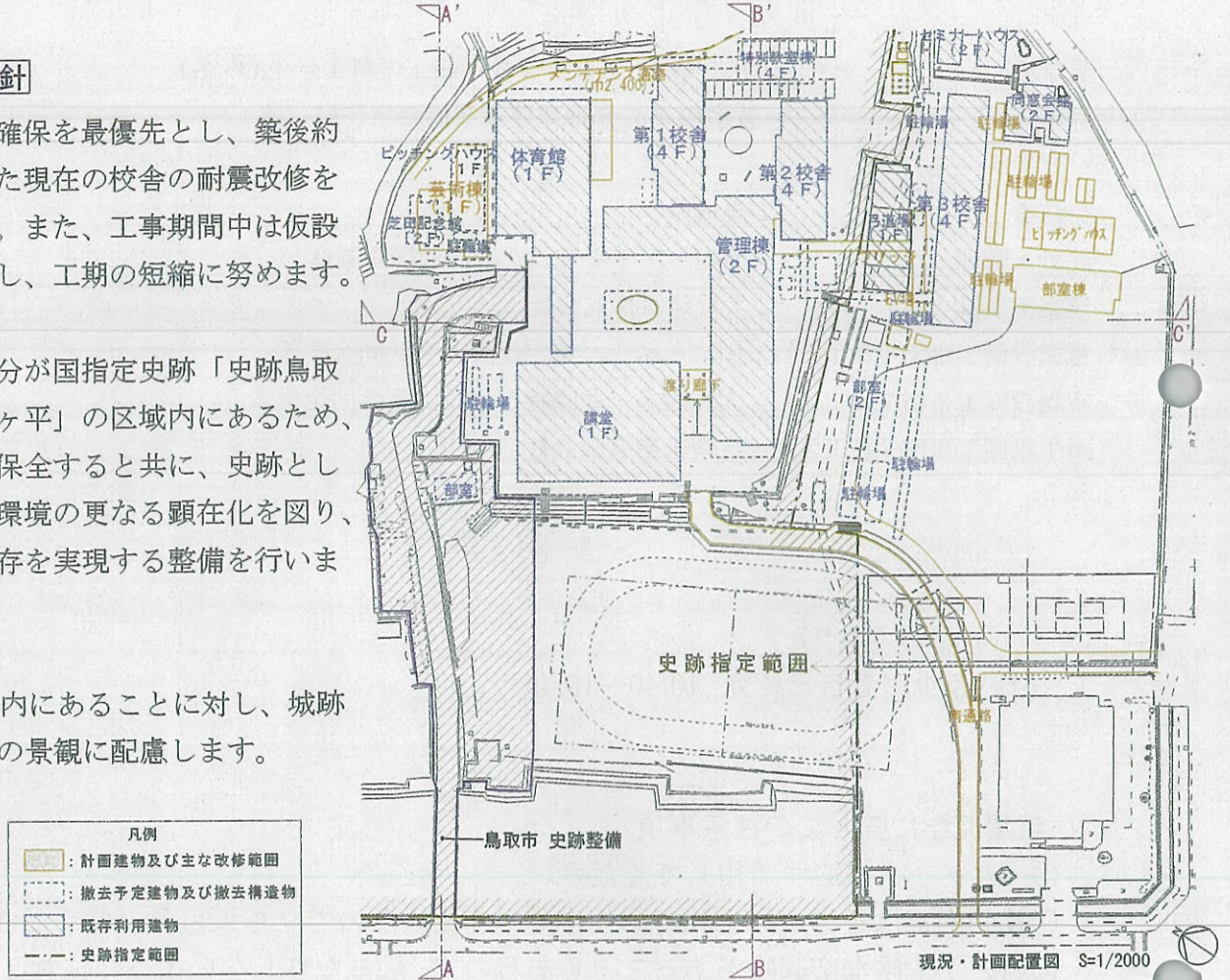
事業の目的

鳥取西高等学校の大部分の施設は、昭和30年代に建築され耐震性もなく、老朽化が進んでおり、早急な生徒の安全確保が求められています。

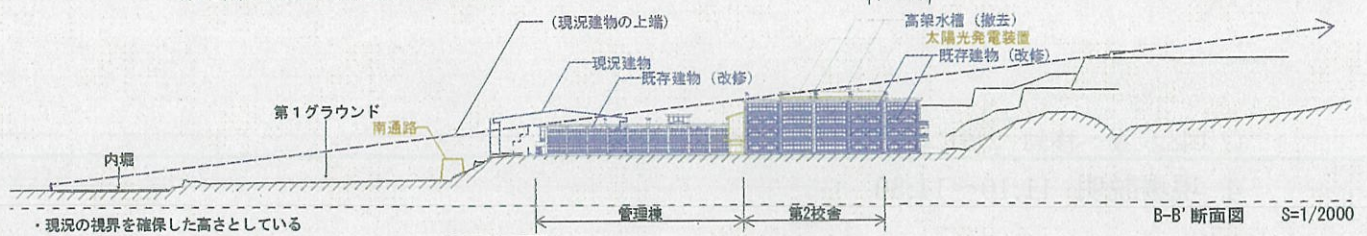
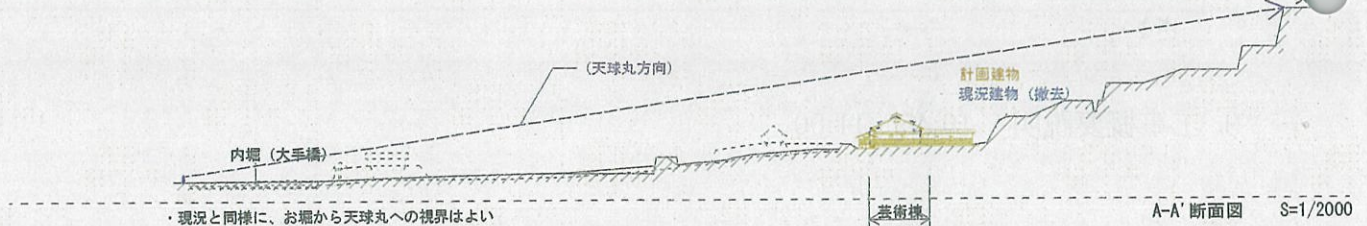
本事業は、耐震性に問題のある建物を耐震改修等すると共に、老朽化が進んでいる建物、設備の改修等を行い、安心・安全で学びの舎としてふさわしい学校環境への改善を行うものです。

整備の基本方針

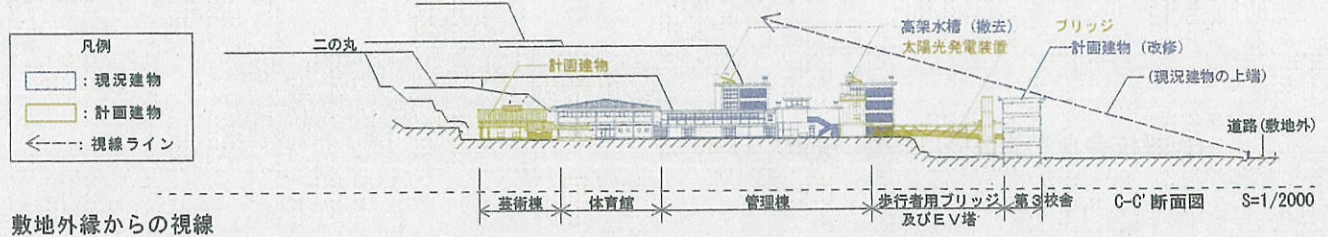
- ・生徒の安全確保を最優先とし、築後約50年経過した現在の校舎の耐震改修を実施します。また、工事期間中は仮設校舎を整備し、工期の短縮に努めます。
- ・敷地の大部分が国指定史跡「史跡鳥取城跡附太閤ヶ平」の区域内にあるため、地下遺構を保全すると共に、史跡としての歴史的環境の更なる顕在化を図り、史跡との共存を実現する整備を行います。
- ・校舎が史跡内にあることに対し、城跡の見え方等の景観に配慮します。



凡例	
	計画建物及び主な改修範囲
	撤去予定建物及び撤去構造物
	既存利用建物
	史跡指定範囲



凡例	
	現況建物
	計画建物
	視線ライン



敷地外縁からの視線



発注者 鳥取県教育委員会
設計者 浦辺設計・アーキテック共同企業体

〈整備後イメージ〉



第2グラウンドから校舎・三ノ丸石垣を望む

建築概要

所在地 鳥取県鳥取市東町二丁目112番地
敷地面積 36,132.90㎡
地域・地区 市街化区域／用途地域 第1種住居地域

建物名称	構造・規模	建築面積	述べ床面積
------	-------	------	-------

改修学校施設

・第1校舎（耐震改修・老朽改修）	鉄筋コンクリート造4階建	466.86㎡	1,842.35㎡
・第2校舎（耐震改修・老朽改修・EV増設）	鉄筋コンクリート造4階建	466.17㎡	1,855.77㎡
・管理棟（耐震改修・老朽改修・一部撤去）	鉄筋コンクリート造2階建	1,612.86㎡	3,078.36㎡
・体育館（耐震改修・老朽改修・一部撤去増築）	鉄骨造1階建	1,179.95㎡	1,119.16㎡
・第3校舎（老朽改修）	鉄筋コンクリート造4階建	658.26㎡	2,402.96㎡

新設学校施設

・芸術棟	木造1階建	432.20㎡	430.20㎡
・歩行者用ブリッジ及びEV塔	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造4階建	163.98㎡	52.29㎡
・部室棟	鉄骨造2階建	311.72㎡	570.79㎡
・駐輪場	鉄骨造1階建	308.98㎡	432.70㎡
・ピッチングハウス	鉄骨造1階建	106.56㎡	125.76㎡

撤去学校施設

・芝田記念館	木造2階建	88.83㎡	145.53㎡
・特別教室棟	鉄筋コンクリート造4階建	235.90㎡	864.00㎡
・部室棟	コンクリートブロック造2階建	269.80㎡	420.00㎡
・駐輪場	鉄骨造1階建	541.70㎡	541.70㎡
・ピッチングハウス	鉄骨造1階建	91.80㎡	81.00㎡
・雑倉庫類	プレファブ1階建	284.90㎡	189.79㎡

教育環境の改善

教育環境の改善のため、耐震改修工事に併せて次のような整備を実施します。

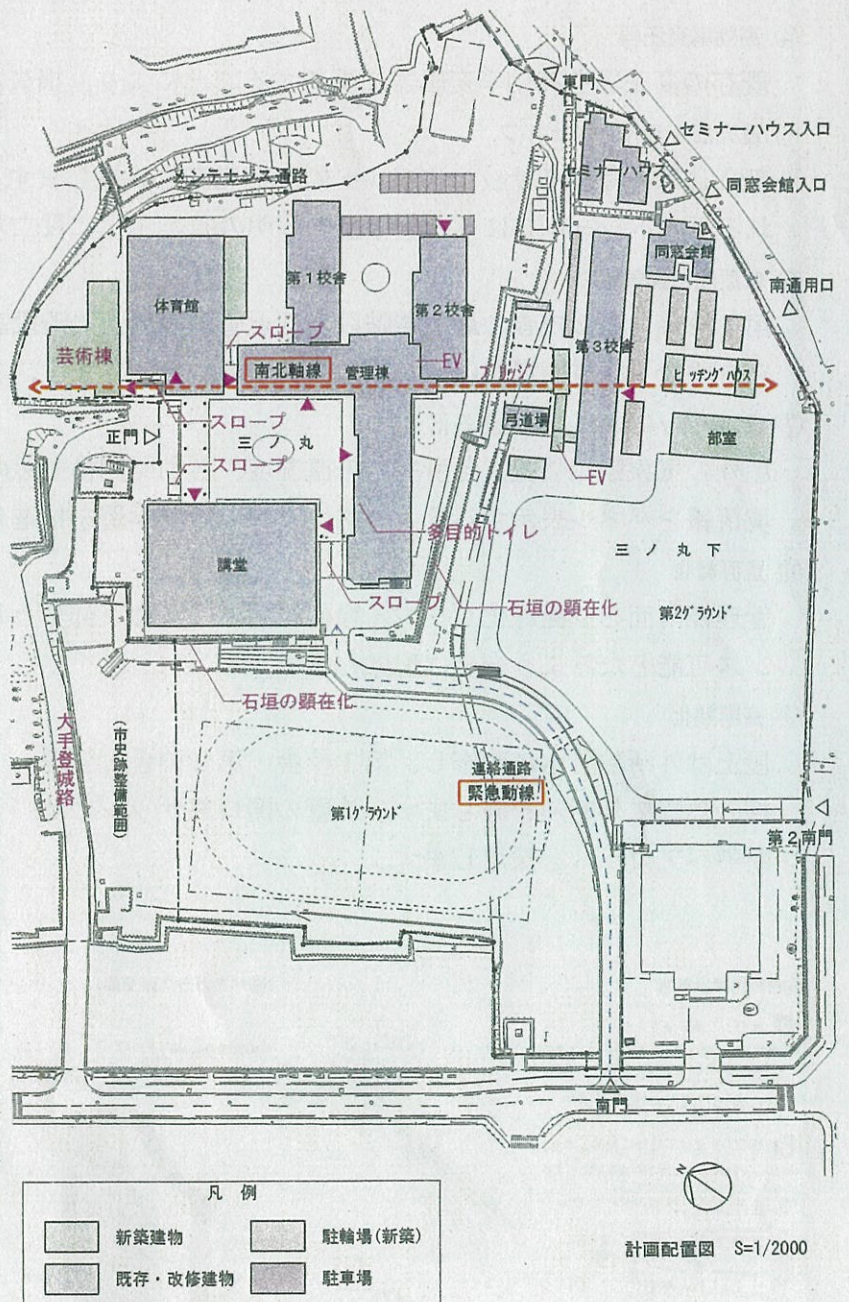
- ①老朽化した施設設備や内装等を改修します。
- ②エレベーターの設置、中庭周りの段差解消、ブリッジ（渡廊下）のスロープ化、多目的トイレの整備など、バリアフリー化を実施します。
- ③芸術棟を新設するなど、生徒の文化芸術活動のための施設の充実を図ります。
- ④主要な既存建物配置を活かすため、管理棟内の南北に延びる廊下の延長線上に渡廊下を設け、第3校舎からその反対側の新設芸術棟までを繋ぐ、学校の背骨となる明快な南北動線を設定します。また、渡廊下は校舎間の連絡機能に加え、通行する生徒が三ノ丸石垣を意識し、鳥取城跡で学ぶことのできる歓びを感じられるようにします。

緊急車両の通路の確保

現在の正面通路が、城跡の整備に伴い車両の通行が出来なくなることから、緊急車両の通路を確保するため、代替通路を整備します。

史跡との共存

- ①特別教室棟等の撤去により、史跡内の建築総面積を減少させます。
- ②三ノ丸下においては、老朽化した部室棟と駐輪場を東側同窓会館付近に移設することで三ノ丸石垣の顕在化を図ります。
- ③工事は、地下遺構に影響を及ぼさない工法で実施します。
- ④継続利用する施設は、城跡景観と調和した色彩の外装に改修します。また、新設棟では、勾配屋根を効果的に採用することで城跡景観との調和を図ります。
- ⑤復元された大手筋の櫓・門を歴史学習の場として活用します。
- ⑥大手登城路付近に木造の芸術棟を配置し、復元される櫓・門との調和に配慮します。



環境性能の向上

- ・ 機器の高効率化や自然エネルギーの活用によりエネルギー消費量を削減すると共に、断熱や遮光等により施設における使用エネルギー量を削減することで、CO2排出量を削減します。
- ・ 改修後の施設を環境教育の教材や地域の人々が環境活動を行う場として活用する等、本整備事業を通して学校を中心とした地域ぐるみの環境教育や環境活動を広げます。

① 太陽光発電装置

第1校舎と第2校舎の屋上に各々10kwの太陽光発電装置を設置します。

② 人感・照度センサー

トイレの照明に人感センサー、教室等に照度センサーを設置します。

③ LED照明・高効率Hf蛍光灯

廊下、階段、トイレにLED照明を、教室等各居室に高効率Hf蛍光灯を設置します。

④ 高効率変圧器

既存の変圧器を高効率変圧器に更新することにより、損失電力の低減を図ります。

⑤ 遮光庇・ライトシェルフ

新たに取り替えるサッシにアルミ製の遮光庇を設置します。空調負荷低減だけでなく、昼光を採り入れるライトシェルフにもなり、室内照明の省エネ化に役立ちます。

⑥ 自然開閉換気窓

第1校舎と第2校舎の最上階階段上部と管理棟屋上の階段室塔屋に、自然通風のための自動開閉換気窓を設置し、夜間換気による冷房負荷の低減を図ります。

⑦ 環境表示パネルによる見える化

屋外の気象観測装置、各所室内の温湿度、自動開閉換気窓の開閉状態、各種メーターの数値などの環境情報をパネル表示する見える化により、環境学習を推進します。

⑧ 壁面緑化

管理棟南面を壁面緑化します。緑化範囲は2階窓下部分とし、地上及び2階窓からの作業でメンテナンス可能となるよう安全に配慮します。

⑨ 高断熱化

屋上は外断熱防水に改修し、第1校舎・第2校舎・管理棟の外壁に外断熱を施します。外壁の開口部サッシには断熱ペアガラスを採用します。

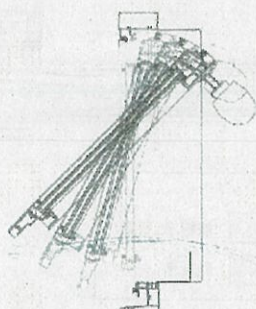
⑥ 自動開閉換気窓

① 風の方で換気ができます。
 内側換気時は、人工のエネルギーは一切使わず、自然の風力と窓内外の気圧差で効率的な自然換気を行う、画期的な自然換気システムです。
※パネラーと窓枠が一体化のため、換気時に騒音はほとんど発生しません。

② 風の方を受けて自然に開閉します。
 窓を開かせる軸の位置を上下で調節することで、風の圧力を受けながら、窓が自動開閉します。
※風の圧力を受け、風の方を受けながら自動開閉します。風が強いほど開閉が速くなります。

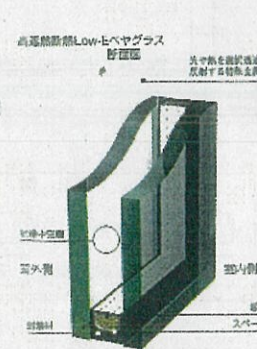


③ 軽く作動します。
 パネラーを上下で調節することで、風を受けやすくなるため、風が強いほど開閉が速くなります。

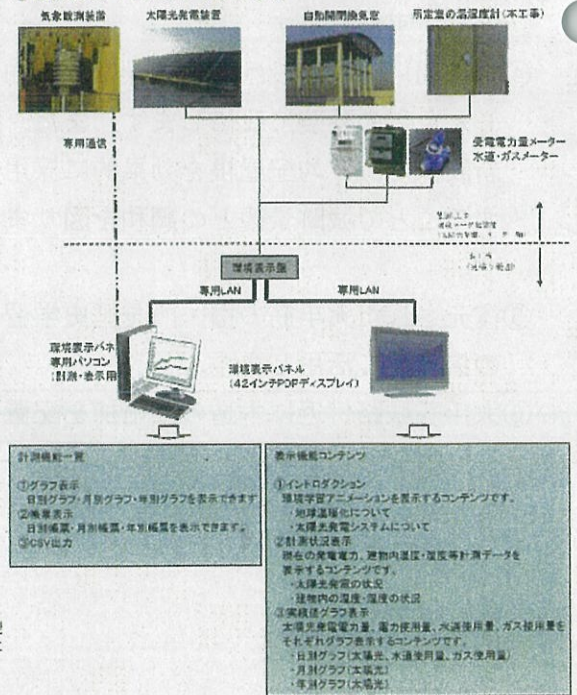


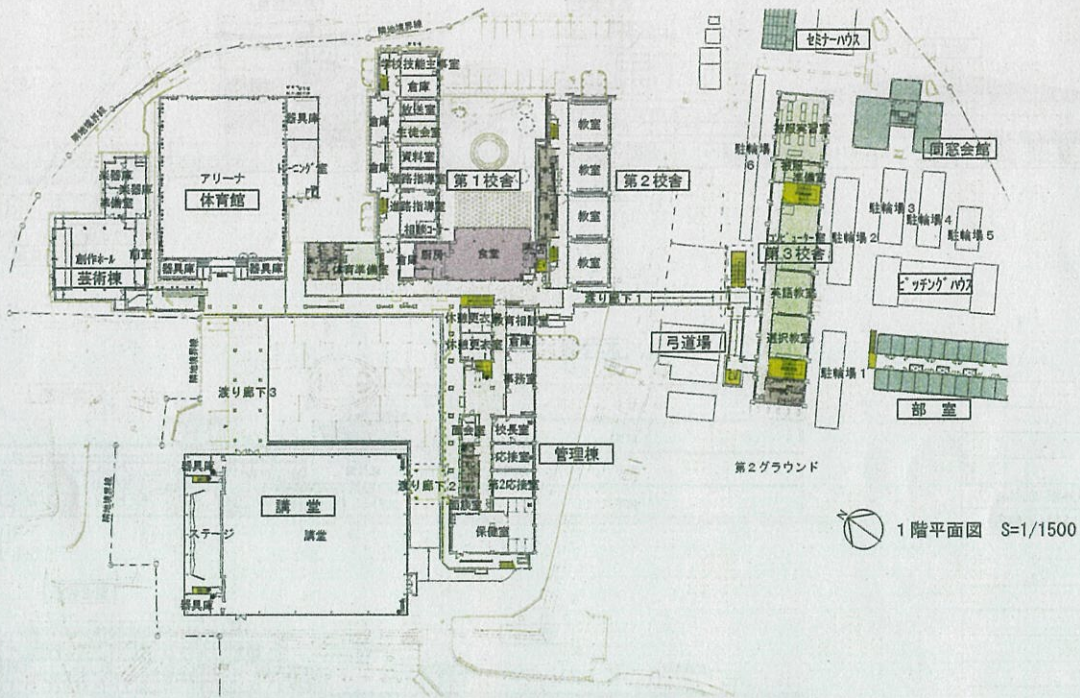
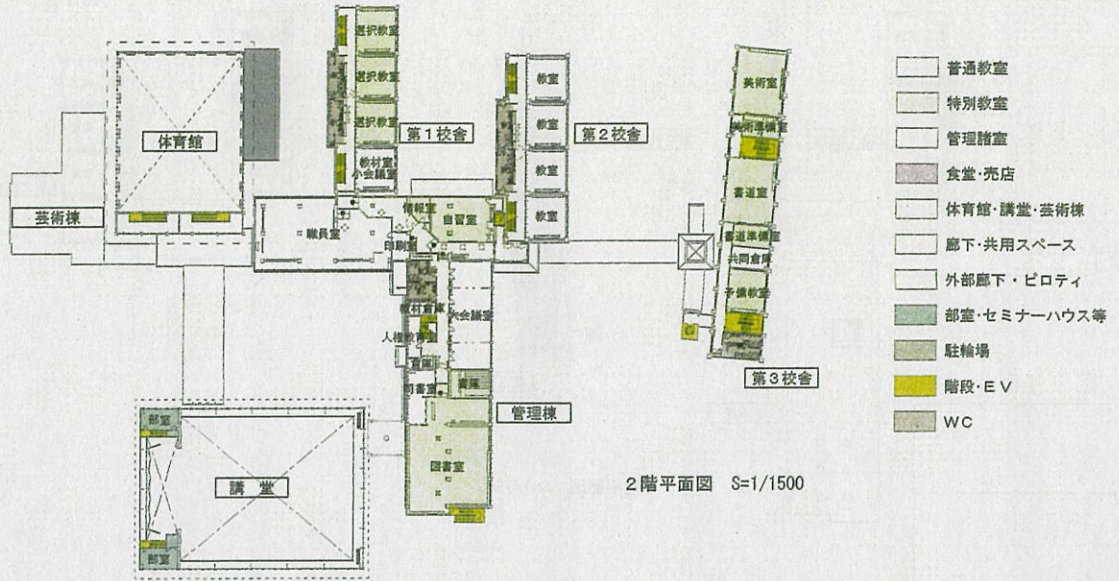
④ 風が無い時でも換気が行えます。
 換気時には、スワンフックが自動で注水し、風力換気を行います。

⑨ ペアガラス断面図

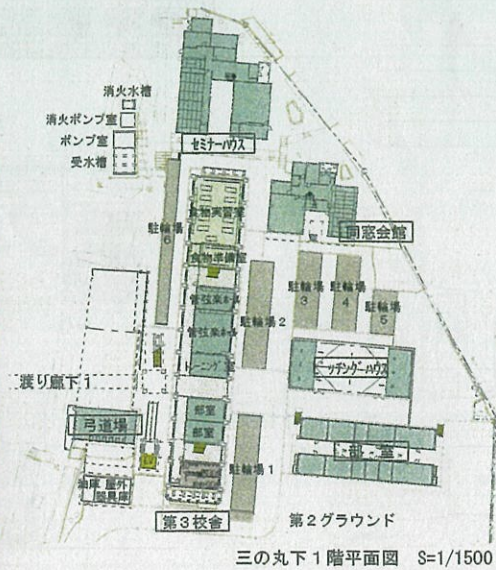


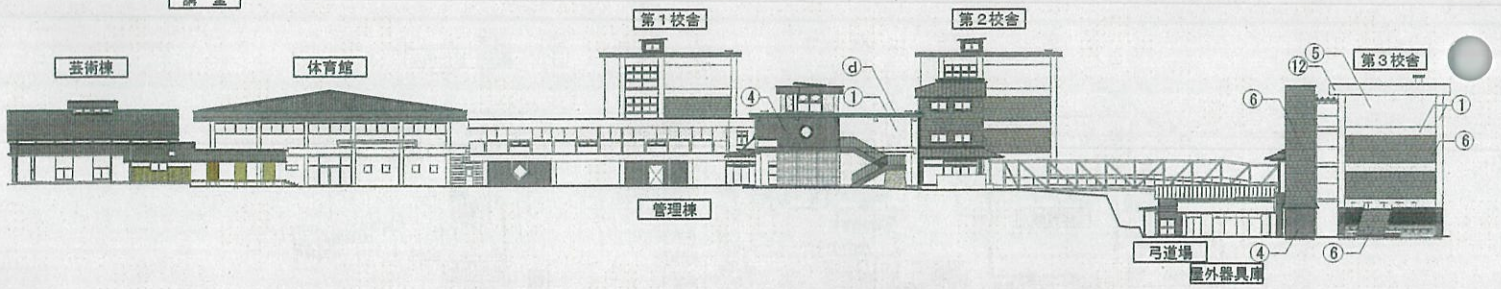
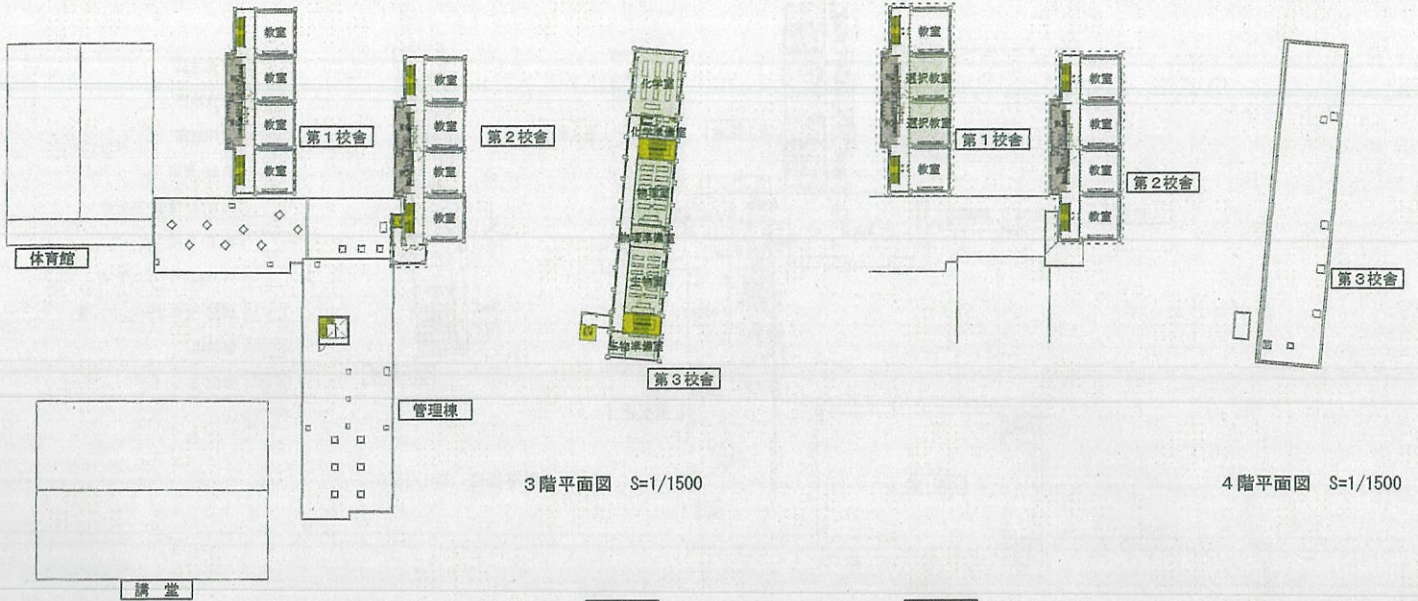
⑦ 環境表示パネルによる見える化



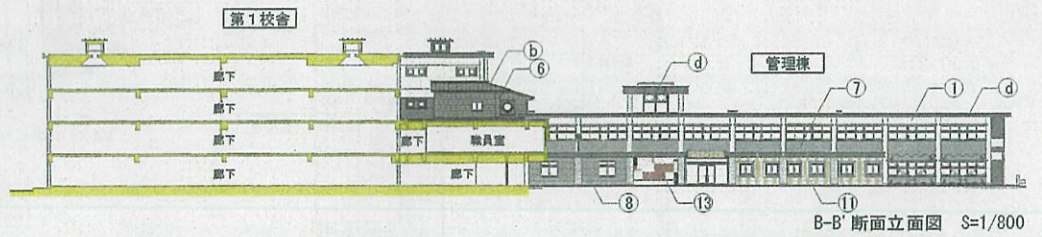


<整備後イメージ>

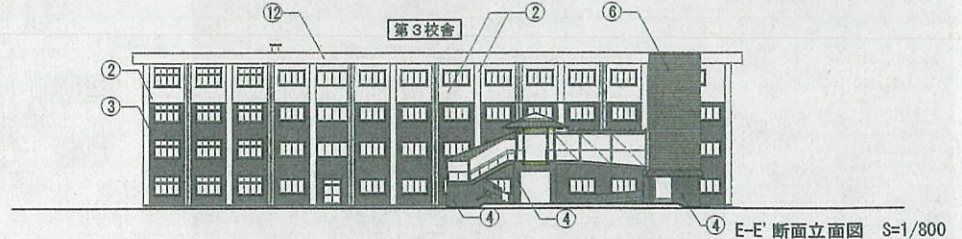
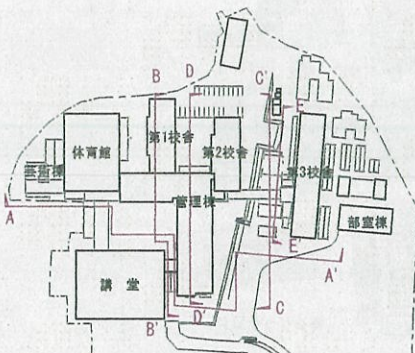
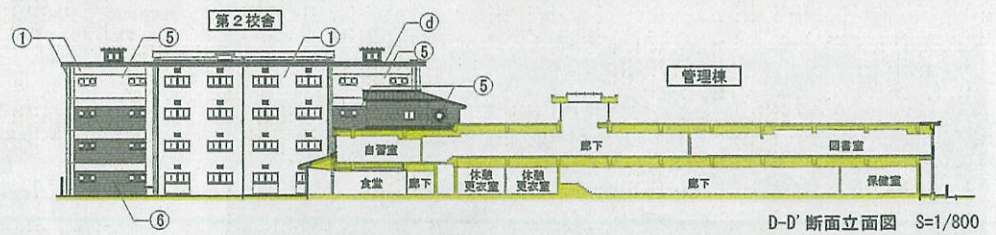
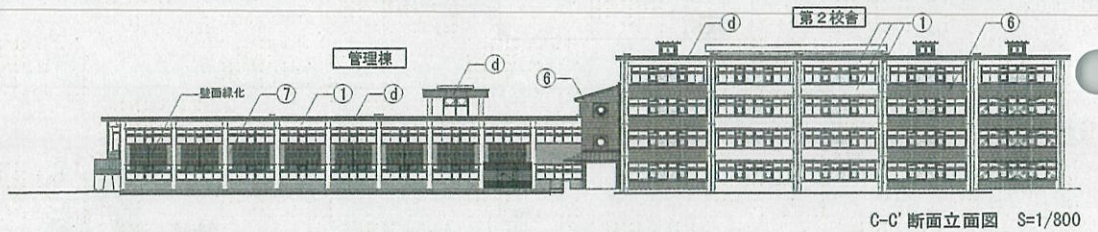


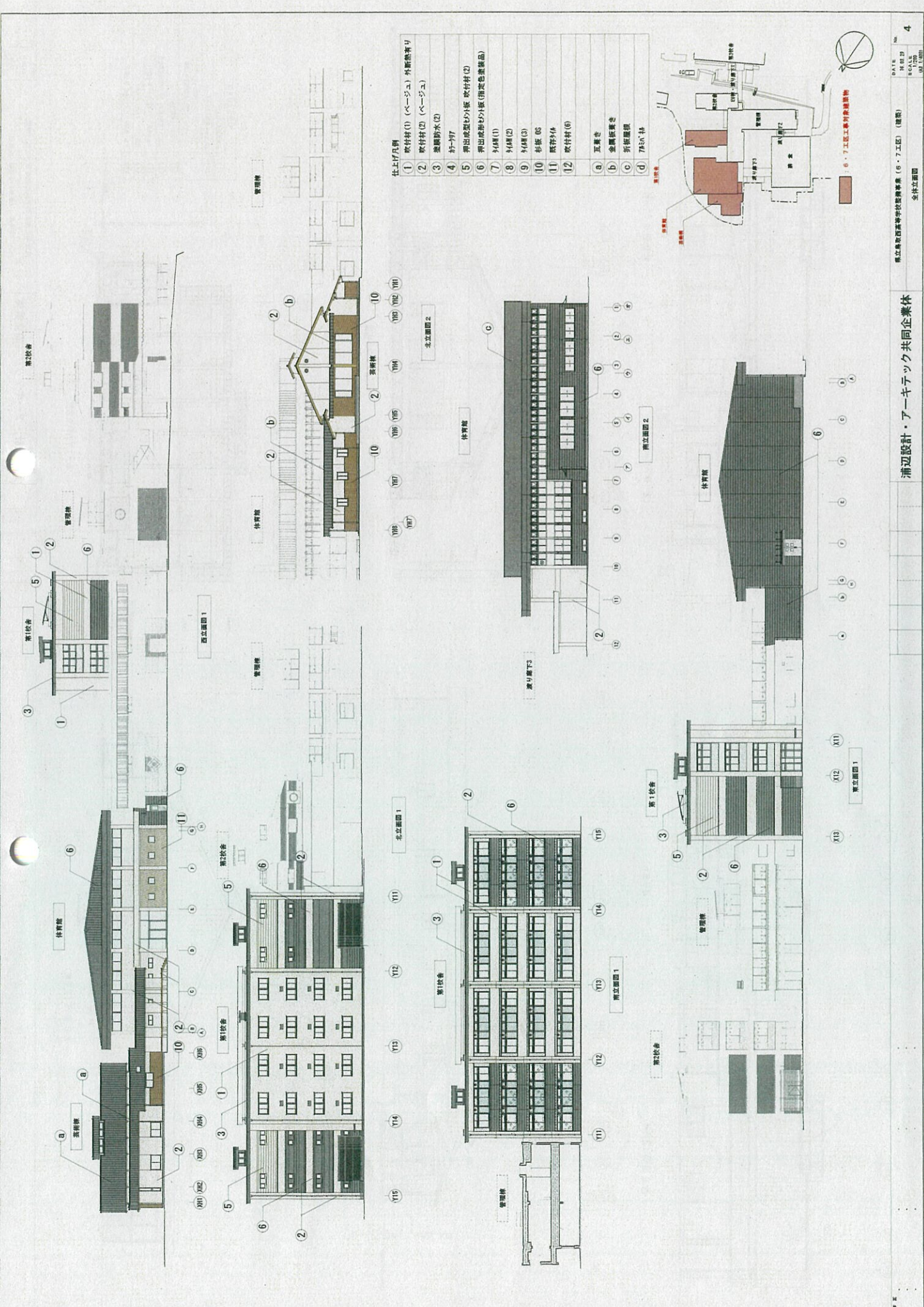


- 仕上げ凡例
- | | |
|---|------------------|
| ① | 吹付材 (1) |
| ② | 吹付材 (2) |
| ③ | 吹付材 (3) |
| ④ | ガラス |
| ⑤ | 押出成型PVC板 吹付材 (2) |
| ⑥ | 押出成型PVC板 (塗装品) |
| ⑦ | タイル (1) |
| ⑧ | タイル (2) |
| ⑨ | タイル (3) |
| ⑩ | 杉板 WP+TG |
| ⑪ | 既存外壁 |
| ⑫ | 塗膜防水 (2) |
| ⑬ | 吹付材 (6) |

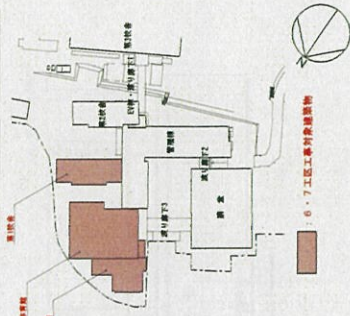


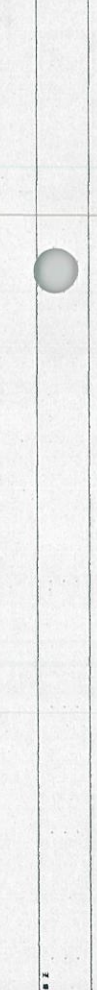
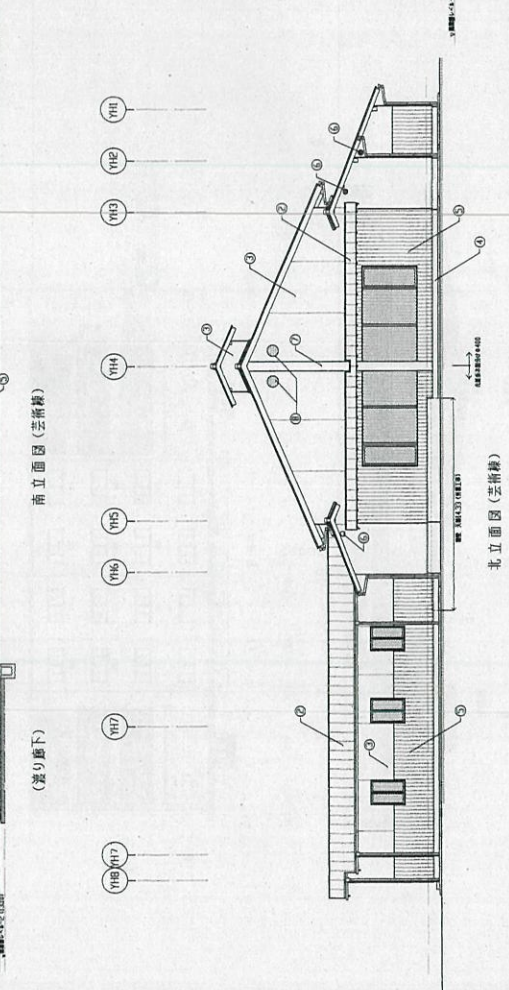
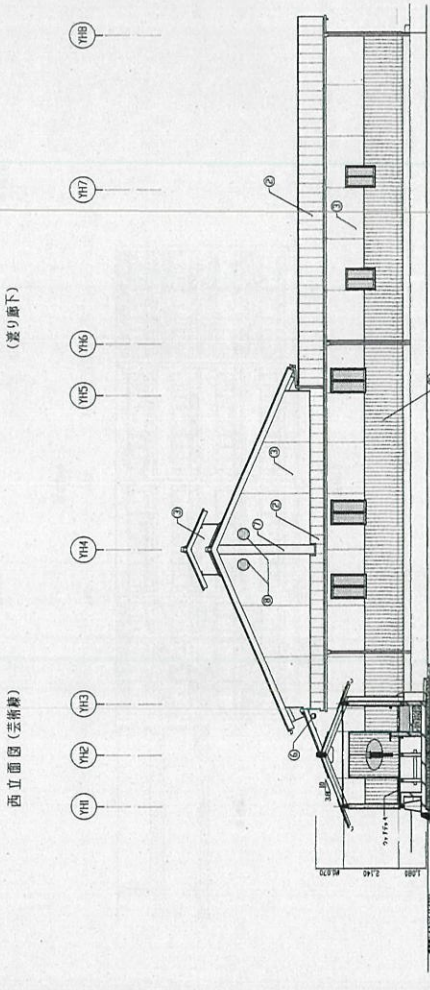
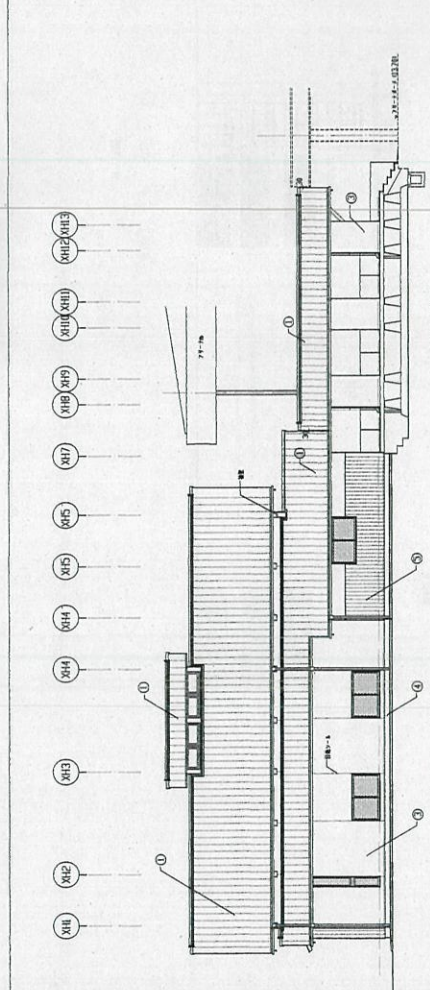
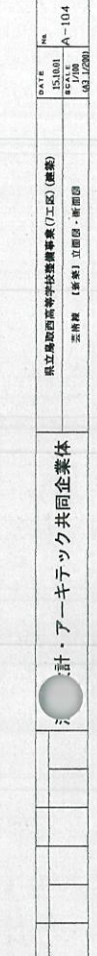
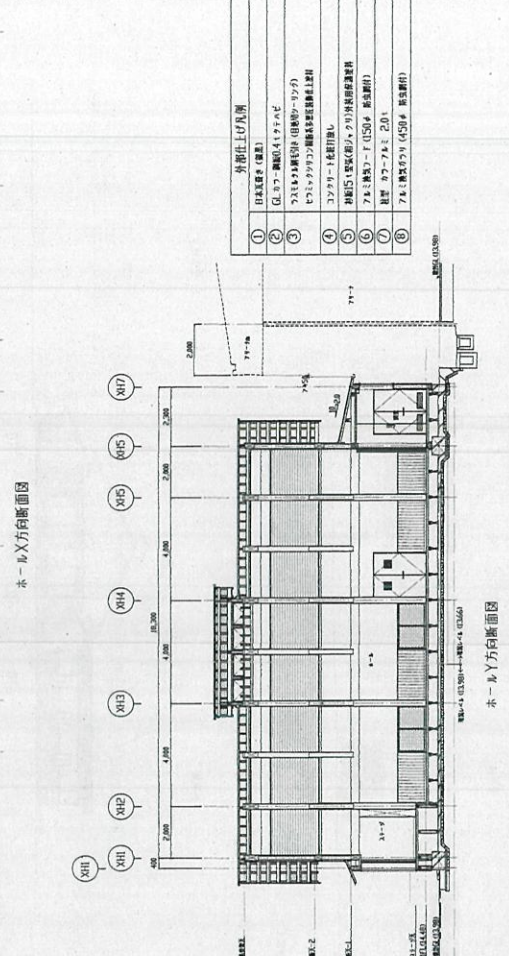
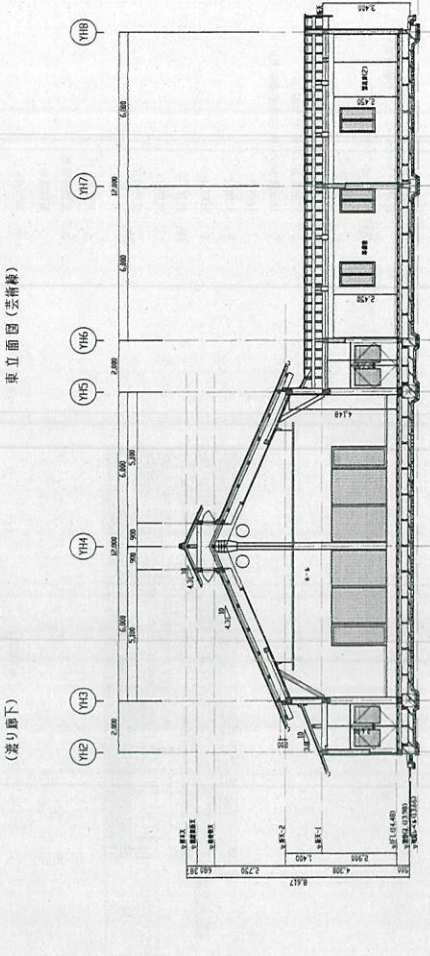
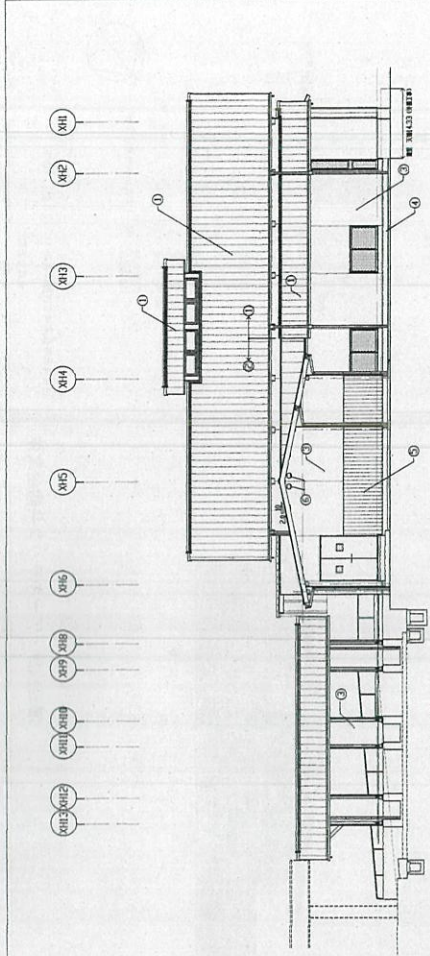
- | | |
|---|---------|
| a | 瓦葺き |
| b | 金属板葺き |
| c | 折板屋根 |
| d | 7&SIA 葺 |





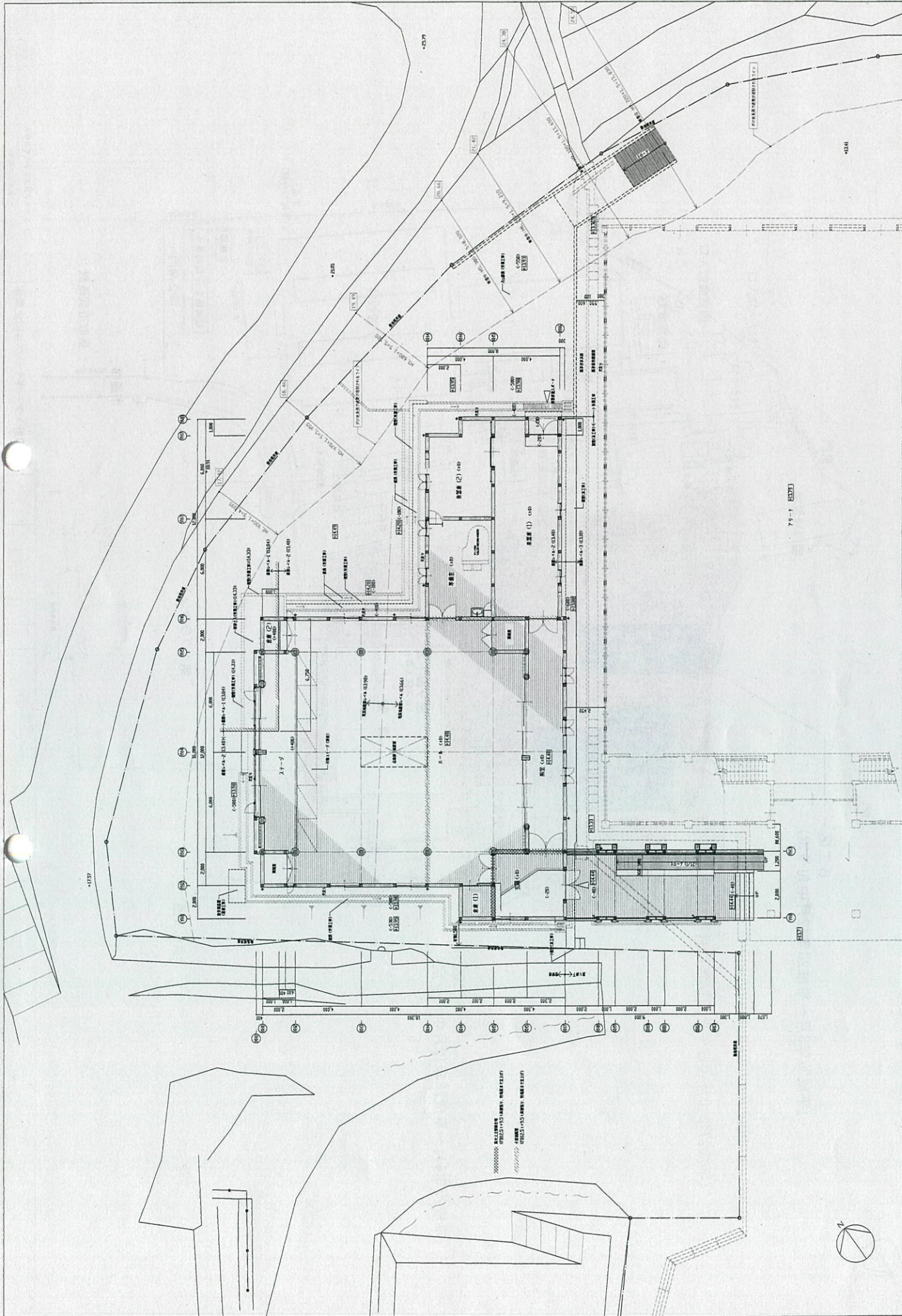
- 仕上り凡例
- ① 吹付材(1) (ベージュ) 外断熱断り
 - ② 吹付材(2) (ベージュ)
 - ③ 塗膜防水(2)
 - ④ 1F-7F
 - ⑤ 押出成型ポリ板 吹付材(2)
 - ⑥ 押出成型ポリ板 (指定色塗膜品)
 - ⑦ 3/4割(1)
 - ⑧ 3/4割(2)
 - ⑨ 3/4割(3)
 - ⑩ 杉板 0C
 - ⑪ 吹付材(1)
 - ⑫ 吹付材(6)
- a 瓦葺き
 - b 金属板葺き
 - c 折板屋根
 - d 75×114





外観仕上り凡例

①	日本産珪藻土
②	珪藻土・繊維強化石膏
③	珪藻土・繊維強化石膏 (繊維強化石膏)
④	珪藻土・繊維強化石膏 (繊維強化石膏)
⑤	珪藻土・繊維強化石膏 (繊維強化石膏)
⑥	珪藻土・繊維強化石膏 (繊維強化石膏)
⑦	珪藻土・繊維強化石膏 (繊維強化石膏)
⑧	珪藻土・繊維強化石膏 (繊維強化石膏)

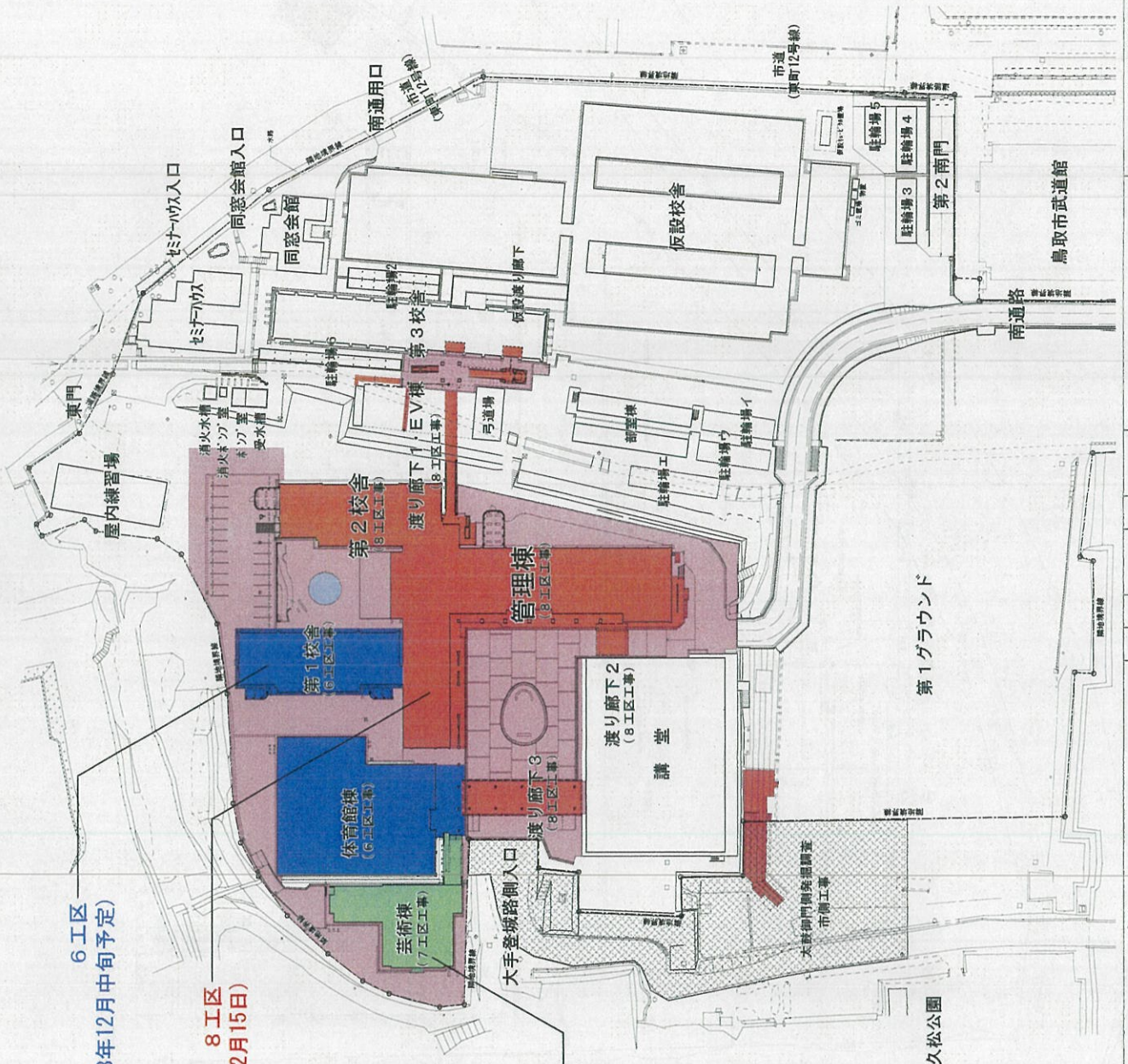




6工区
(平成27年3月～平成28年12月中旬予定)

8工区
(平成27年10月10日～平成28年12月15日)

7工区
(平成27年4月～平成28年12月中旬予定)



工事工程表

県立鳥取西高等学校整備事業(建築)

工事名	平成27年												平成28年																													
	11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	10	20		10	20		10	20		10	20		10	20		10	20		10	20		10	20		10	20		10	20		10	20		10	20		10	20		10	20	
6 工区 体育館増築・改築・耐震 第一校舎改修・耐震	[Yellow bar spanning from April to May of both years]																																									
	[Yellow bar spanning from April to May of both years]																																									
7 工区 芸術棟新築	[Red bar spanning from April to May of both years]																																									
8 工区 管理棟(耐震)改修 第2校舎(耐震)改修 EV棟・渡り廊下新設	[Green bar spanning from April to May of both years]																																									
	[Green bar spanning from April to May of both years]																																									
	[Green bar spanning from April to May of both years]																																									

